キャラクター名: 晴（はる）

プレイヤー名:

シンドローム	バロール バロール	ワークス	何でも屋	カヴァー	ゼノスメンバー
オプショナル		年齢	15	性別	男
覚醒	憤怒	衝動	殺戮	初期侵食率	38 %
出自	貧乏	経験	永劫の別れ	邂逅	家族/雪

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値
肉体	0	1	0			1
感覚	2	0	0		1	3
精神	4	0	1		2	7
社会	2	0	0			2

HP	29
行動値	13
(非装備時)	13
戦闘移動	18
全力移動	36

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵	1		射撃			ＲＣ	4		交渉		
回避	1		知覚	1		意志			調達	3	
運転：			芸術：			知識： 雪	1		情報： 噂話	1	
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		
運転：			芸術：			知識：			情報：		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

合計装甲：	0	合計回避：	0

所持品	
情報：ゼノス	
情報：裏社会	

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイタス	消費
実験体	P	N		
雪【固定】	P 幸福感	N 悔悟		
ココ【固定】	P 友情	N 不安		
	P	N		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10	残り財産P： 4

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果：	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果：	コスト分のHPで復活							
孤独の魔眼	4	4	ｵｰﾄ	視界		自動		
効果：	自身をふくむ範囲攻撃の対象を自身だけに変更							
CR:バロール	2	2	ﾒｼﾞｬｰ					
効果：	クリティカル値-LV							
死神の瞳	5	3	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	対決		
効果：	次のダメージを+[LV+2]D							
時の棺	1	10	ｵｰﾄ	視界	単体	自動	100↑	
効果：	直前に使用。その判定は失敗となる。1シナリオ1回							
因果歪曲	5	3	ﾒｼﾞｬｰ		範囲(選択)	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：	組み合わせたエフェクトの対象範囲(選択)に変更							
停滞空間	1	2	ﾒｼﾞｬｰ	視界	単体	ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：	対象の行動値0							
魔王の腕	1	2	ﾒｼﾞｬｰ			ｼﾝﾄﾞﾛｰﾑ		
効果：	バッドステータス:硬直付与							
ディメジョンゲート	★	3	ﾒｼﾞｬｰ	至近		自動		
効果：	自分が知ってる場所にゲートを作り出すことができる							
刻の魔術師	★		ﾒｼﾞｬｰ	至近		自動		
効果：	物体の時間を操作する							
帝王の時間	★		ﾒｼﾞｬｰ	至近		自動		
効果：	周囲の時間を操作							
吸着	★		常時	至近		自動		
効果：	重力方向を操作できる							
効果：								
効果：								

野良猫のような性格をしており、人のことが大っ嫌い。ゼノス内のみで何でも屋として働いている。

とある海外の貧民街で産まれた。
産まれた当初は家族全員で何とか過ごしていたが、年が経つにつれ生活は厳しくなっていく。
人身売買をすれば数年暮らすのに困らないという両親の考えにより晴は人身売買に出される。
「生きるためだからしょうがない」「私たちが産んだのだから私たちのために使われて」
そんなことを言われ。

晴が売られたのは日本の研究所だった。周りには自分と同じように親に売られた子供が沢山いた。今でも忘れない、家族の名前を叫び助けを求め続ける子供の声。終わらない泣き声。
うるさい子。身体が弱い子。次々とどこかに連れていかれた。連れていかれ帰ってこれる子は希少だった。
晴も何度も何度も人体実験をされた。
実験されるにつれ気づけば不思議な力を手に入れていた(バロール)。しかし、力としては不完全なものだった。
生きることを諦めたくなかった晴はこの能力を使い脱走することを決意した。
数ヶ月経ってなんとか研究所から逃げだし、山奥で倒れていた所を雪に拾われた。

最初は警戒していたが何も知らなかった晴に不思議な力についてや、精霊について教えてくれた。
そして雪はNo.～というコードネームしか持っていなかった彼に対し【晴(はる)】という名前や居場所を上げた。
実験されてたこともあり上手く力を使えなかった晴に雪は力の使い方も教えてくれた。
ただ、力を制御できず刻の魔術師が常時発動してしまい植物の世話をする時に枯らせてしまうことが多かったので雪は力を抑えられる特別な手袋をあげた。

それから数年たったある日。山を突如武装集団が襲う、あまりに突然だったことからほとんどのレネゲイドビーングは死亡。雪も命を落とした。晴は憤怒した、